

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

26年 6月 15日

都道府県知事  
(市長) 殿

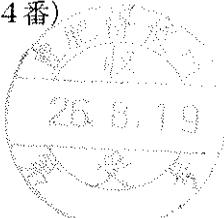
提出者

住 所 〒870-0854 大分市大字羽屋600番地の10  
氏 名 大分県農業協同組合  
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 代表理事理事長 阿部 新咲  
代表 TEL 097(535)7600

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	清川支店肥育牛試験研究センター
事業場の所在地	豊後大野市清川町三玉155番地
計画期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	〇1 農業
②事業の規模	牛 180頭
③従業員数	2人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物のふん尿 ① 自ら堆肥化 動物の死体 ① 又は業者へ委託処理

(日本工業規格 A列4番)



## (第2面)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

場長（産業廃棄物統括責任者）

廃棄物処理方針の決定

廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認

事務員（産業廃棄物取扱担当者）

廃棄物処理計画の作成

年次契約の締結事務

産業廃棄物管理票の交付・管理  
行政等への各種報告

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	1800 t	1 t
①現状	(これまでに実施した取組) 該当なし		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	1800 t	0 t
②計画	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（25年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	動物のふん便
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	1300 t
(これまでに実施した取組) ・堆肥化		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	動物のふん便
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	1300 t
(今後実施する予定の取組) ・堆肥化		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（ 年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 25 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	1 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

## (第5面)

【目標】	
産業廃棄物の種類	動物の死体
全処理委託量	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	t
再生利用業者への処理委託量	t
認定熱回収業者への処理委託量	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄	